

★神戸の催し物ご案内

1月

△音楽▽

★神戸外大混声合唱団

8日(日) 2時 神戸文化ホ
ル 四〇〇円

★テロは歌う—藤原真理

9日(月) 7時 県民小劇場
指定席・二〇〇〇円 自由席・一五
〇〇円

★神戸西女声合唱団

14日(土) 2時 神戸文化ホ
ル 四五〇円

★神戸ジュニア合奏団

14日(土) 6時半 県民小劇場
七〇〇円

★兵庫県アンサンブルコンクール

16日(祝) 9時半 県民小劇場
四〇〇円

★兵庫女子短大コーラス部

16日(祝) 2時 神戸文化ホ
ル 四〇〇円

★38回パールコンサート

弦楽三重奏の夕べ



安田謙一郎



今井信子



塩川悠子

16日(祝) 7時 県民小劇場 二
〇〇〇円
演奏/塩川悠子、今井信子、安田
謙一郎

★神戸青年合奏団

18日(水) 6時 県民小劇場

★甲南大学グリークラブ

19日(木) 6時半 神戸文化ホ
ル 四〇〇円

★ベレス・ブラード楽団



ベレス・ブラード

25日(水) 6時半 神戸文化ホ
ル 民音/会費・二二〇〇円
一般・二七〇〇円

★宋里エイコ



宋里エイコ

27日(金) 6時半 神戸文化ホ
ル 民音/会費・二〇〇〇円

★五木ひろし

28日(土) ①2時 ②6時 明石
市民会館 S・五〇〇〇円 A・
四〇〇〇円 B・三〇〇〇円

★関西学院大学グリークラブ

28日(土) 神戸国際会館

★西条秀樹

29日(日) ①1時 ②4時 神戸
国際会館 S・二八〇〇円 A・
二〇〇〇円 B・一八〇〇円

★松崎しげる

30日(月) 6時半 神戸文化ホ
ル A・二五〇〇円 B・二〇
〇〇円

★田原富子



田原富子

30日(月) 7時 神戸文化ホ
ル 民音/会費・二〇〇〇円

★ジュニアコンサート

30日(月) 5時 県民小劇場 五
〇〇〇円

★新春特別公演

「河内まんだら」
2日(月) 11日(水) ①11時

③3時半 神戸国際会館 指定・
二五〇〇円 自由・一五〇〇円

★人形劇団クラルテ

5日(木) 1時半 6日(金) ①
10時 ②1時半 神戸文化ホ
ル 九〇〇円

★ぬいぐるみ人形劇

「ヘンデルとグレイテル」
8日(日) 1時半 神戸文化ホ
ル 七〇〇円

★劇団四紀会

「たつ子太郎」
21日(土) ①1時 ②4時半
22日(日) ①10時 ②1時半 ③
4時 29日(日) 6時半 県民小
劇場 二二〇〇円

★民芸(ジーン・エア)

23日(月) 25日(水) 26日(木)
27日(金) 28日(土) 6時15分
29日(日) 1時半 神戸文化ホ
ル 神戸労働会館 一八〇〇円
出演/塚山文枝、岩下浩ほか
△その他▽

★桂木朝独演会

4日(水) 2時 明石市民会館
前売・一四〇〇円 当日・一六〇
〇円

★東芝ファミリーホール公開録音

「特ダネ登場」
13日(金) 5時 明石市民会館
整理券/ゲスト/西条秀樹

★吉本お笑い寄席

14日(土) 1時半 神戸文化ホ
ル 一般・一八〇〇円 中学生
以下・九〇〇円

★初春の舞踊

19日(水) 6時半 神戸国際会館
民音/一七〇〇円

★神戸五流能

21日(土) 1時 神戸文化ホ
ル S・五〇〇〇円 A・四〇〇
〇円 B・三〇〇〇円 C・二〇
〇〇円 学生・一〇〇〇円

★市民映画劇場「砂のミラージュ」

25日(水) 27日(金) 6時半
28日(土) 2時 神戸文化ホ
ル 四九九円

●愛読者招待席

神戸っ子読者5名様

神戸五流能(1月21日(土) 1時
神戸文化ホール)にご招待!



大原御幸

熊番組は「巴」金剛殿、「大原
御幸」観世元正、半能「石橋」
△評券/金春信高という充実した
もので、三流の宗家が出演、技を
競う。また狂言「瀬直山伏」が著
竹忠一郎、善竹孝四郎のコンビで
演ぜられる。またこの催しのひと
つの呼び物になっている五流仕舞
では、宝生流、喜多流が加わって
五流の仕舞を羨しむことができる
ご希望の方は、葉書で神戸っ子編
集室「五流能」係まで。先着順。

●愛読者優待席

神戸っ子読者には左記のステージを割
引優待致します。

初笑い河内まんだら(1月2日/11日 ①11時 ②3時半 神戸国
際会館)



藤田まこと

NHK連続ドラマでおなじみの河
内まんだらが初舞台化。第二部に
新春バラエティショー「初夢夢の
宝船を北上」

原作/北村篤子、脚本・演出/竹
内伸光

出演/高田美和、片岡秀太郎、藤
田まこと、西崎どり、西尾美恵
子ほか

ご希望の方は電話か葉書で神戸っ
子編集室・優待係/八川崎まで。

文学春秋

第1回 文・松原 新一

〈文芸評論家〉

カメラ・橋本 英男
題字・村上 翔雲

「冷静」と「平然」とが棲む 富士 正晴



諷刺、からかいの名手、富士さんは今日も平然と坐っている。

富士さんのたばこの喫い方は独得である。一センチほど喫ったら消してしまふ。すぐ新しいたばこに火をつけるが、それも一センチほどでおしまい。それ以上喫つても、うまくないという。

「別に意識しているわけやないねん。これ以上喫うたらガンになるとか、体に悪いとか、そんなこと考えてるわけやない。こちらへんまできたら不思議とうもなくなるねん。そやから、めまぐるしくてかなわんいうて、よう人からいわれるけどな」

インタビュアーに同行した岡田なな子さん（編集部）によると、社長が禁煙手当を出している会社があるという。ヘビースモーカーだった社長が、ある日突然、たばこをやめた。社員は右へならえというわけだ。日本専売公社が、わざわざ「健康のため吸いすぎに注意しましょう」と、ことわりまで印刷してたばこを売っているご時勢である。

富士正晴は、諷刺、からかいの名手である。そのしたたかな批評精神の根もとには、たぶん「どうなとなれ」という覚悟があるのだろう。だが、見るべきものは見る。おだやかな眼だが、富士さんは「ぼくが大きな眼を開いたら、これでも恐ろしい眼になるねんでエ」という。散歩もせん、汽車にも乗らんといい富士さんは、茨木の竹ヤブのなかに腰をすえて、一見隠者のよそおいが、本当は、世の中のあれこれ、恐い目を開いてじっと見ている。好奇心のかたまりである。世の中のこと、人間のこと、のあれこれに富士さんほど旺盛に面白がっている人があるんで隠者でありえよう？ 富士さんの手にかかると、人間模様の一切が、「なんやしらんけつたいな話やけど、あれはおもろいでエ」となる。

たばこ健康の話をつづけよう。

「八十、九十になって、なにしたらんやわからんようなままで生きてるより、ガンにでもなつてコロッと死んだ方がええと思ふんやけどなア。この頃の老人みてるどね、とにかく長生きしたらええと思つてみたいやな。医者も

この頃は年寄りのお守りみたいなことになってかなわんいうてたわ。学校教育が悪いいうてね。人間は死ぬもんやいうことをひとつも教えへんやろ。年寄りもそれ忘れてるわ。なんぼでも生きられるもんや思てね、生かしてもらおう思て、医者のとこへ来るわけや。医者は儲かるさかいな、点滴したりなんやかんやしてな。医者のために生きとんのと違うでいう氣イするときあるよ。死ぬのわかつつて、ほつとつたら二、三日で死ぬいうのを、一十月、二ヶ月持たしてやるわけや。ムダなんやけどなア、ぼくにいわしたら……けど、人間、死ぬのは、むずかしいわ。」

新幹線の禁煙車についても、

「それより田辺聖子を書いてたように、禁ガキ車をつくれいう方がホンマと違うか。新幹線に乗つとつてあんまり子供がうるさいもんやから、田辺聖子は恐い顔して、ぐーっとにらんだつたらしいわ。この頃の子供は叱られることを知らんやろ。その子供は、うわあ、このおぼちやん面白い顔しはるいうて、おんなじ顔さしたる思てまたあばれよるわけや。処置なしやで」

富士さんは偽善的なもの、キザなものが大嫌いである。夏目漱石も「東京キザ」でダメ。島崎藤村にいたっては藤村がどうやって姪を口説いたか、現場がありありと目にかんでくるみたいで、それこそ「気色わるい」。『かもめのジョナサン』がベストセラーになったとき、「からこうたれ」と思つて、『あひるの下ナサン』を書いた。訳者の五本寛之氏がそれを面白がって、手紙をよこしたそうである。

だから、富士さんの文体は、あくまで平談俗語。インテリふうの気取りや難解とは、全く無縁である。演劇評論家の山口広一氏に「サンデー毎日」で富士正晴の大阪弁は下品であるやつつけられたらしい。あんな下品な大阪弁でラジオやテレビに出てしゃべるのはやめなさいと叱られたそう。『そない出てエへんがな』と笑いながら、富士さんは「そんなこといわれても、ぼくのこと

ばは神戸弁がチョット、大阪弁がチョット、それから京都弁がチョットと、それぞれチョットとずつくっついてるんやから、関西弁というよりしかたのないことばやねん」という。その関西弁でいうと、かつて「V I K I N G」の同人だった知識人文学者の高橋和巳も、「あれは、ボクちゃん可愛いと、いつも自分で思ってたような男やなあ」となる。

「高橋和巳の文学というのは、ボクちゃん可愛いと思ってる男が、世の中へ出てみたら、みんな、可愛い、可愛いというてくれなあかんはずやのに、だれもいうてくれへん。それがつらい、悲しいいうて苦しんでるような文学やな。それが高橋は、才能というのか、やり方が上手やったというのか、うまいことやりましたからね」

これだから恐いのである。
親鸞の話になった。富士さんは、あれがかなわんという。親鸞というより、親鸞について書いたりしゃべったりする手合いがかなわんということだったかもしれぬ。あれはその気になればどんなふうにも理屈がつけられるから危ないという。「挫折したやつが、すぐ歎異抄によりかかりよるねん。どうも信用でけんところがあんなア」という。

こういう富士さんのズバリ見抜いてしまう眼が恐い。それなら富士さんが、今、面白いと思ってる相手はだれなのか。たとえば高浜虚子である。「俳句」に虚子論を連載し、「文体」創刊号に虚子論を書いた。私のような虚子についてなにも知らぬにひとしいものが読んで、思わず虚子を読んでみたくなるような奥行き深い名論である。富士さんは虚子の「冷淡」「冷静」「平然」をとりだしてくる。虚子のとらまえようのない大きさがみえてくる。

「読んでみると、これ、食えんオッサンやなあいう気がしてきたなア。古いところもあるけどね、もともとは新しいわ。謀叛人みたいなところがあるでしょ、あの人には。そやから、全然合理主義やねん。それで長生きしよった

でしょ。晩年に冷めたい小説書くからね。あんなに冷酷な文章書く人珍しいんちゃうかしらと思うね。まわりから俗物といわれて、当人は喜んどのやからね、どないもかなわんわ、ああなると。エライ人でっせ。大野伴睡が弟子でしょ、それから赤星なんとかいうてね。これは高級官僚ですわ。医者、実業家、そんなのみんなおさえてんのやからね。漱石かて年上のくせにおさえられてるわ。なんやこなされてるわね。それに祇園の一流芸者もみんなおさえてあるでしょ。あれが来るいうたらみんなワアーツと来よるんやからね。あれぐらい自分の金使わんと芸者遊びした男いうのは知らんわ。そこらへんの板場みたいなんともうまいことつき合いよるわけや。ちょっとあんなん、おらへんで。それでなにするかいうたら、なんにもしてへんのやからね。それがまた不思議や。大胆で凶々しいねエ。相手がこの野暮天と思っても、それがわかっとなって、また行きよんのや。けったいな人やわ。なんやすかんたらしいオッサンや思うとったけどな、昔は。けど、すかんたらしいのも、あないなつたら大したもんやわ」

大学紛争の頃、杉本秀太郎さんに頼まれて、「しゃべることあれへんで」といいながら、富士さんは京都女子大学の学園祭に講演をしに行った。題して「男と女の話」。女子学生をオルグに来ていたよその大学の男子学生が、講演が終ると、突然立ち上って、「あなたの話には全然思想がない」となじった。

「女の子がおったらエエかっこしよんねん。なんぞエエとこ示さんならん思てね。そんなものあるかい、思想なんかあれへんよいうて終りや。そしたら、怒りよってな、今度は杉本にむかって、この人は思想がないいうてるからもうええとして、そんならなんでこんな思想のない男をわざわざ講演会に呼んだのかいうて怒り出したんや。杉本は、思想がないよって呼びましてんいうてな。そんな終りや。どだい勝負になつたらへんのや」

富士さんの「男と女の話」聞きたかったけれど、頭を



禁ガキ車をつくれいう方がホンマと違うか……

う新体制が出来上った。「二十代のものが出て来て勝手せんと同人雑誌いうのはおもしろくない」という思想である。大学紛争の頃、青年の関心はもっぱら派手な政治の方にのみ向っていて、富士さんの所へも政治青年は多勢来たが、文学青年はとんとあらわれなかったそうだ。最近になって、やっと四人の二十代の青年がそろったという。その四人をまとめて「V.I.K.I.N.G」の同人に送り込んだという。ひとりではいけない。ひとりだと、たちまち四十代に仕込まれてしまつて、分別くなく

カリカリさせながら帰つたであろうその青年に、私はいくらか同情せざるをえない。そんな棒球みたいな威力ゼロの質問をして、まともに勝負になるような相手じやないのです、富士正晴という人は。虚子の「平然」を、「冷静」ととり出してきて、けつたいな人やでえ、おもしろい人やでえと感心している富士さんのなかにも、「冷静」と「平然」とが住んでいる。ある作家が、随筆に孫のことを書いた。それは、ふだんから批評性をちゃんとそなえているはずの作家であつた。「あれは不思議やねえ。なんであないなるのやろ。もうべたべたやからねえ」と富士さんはあきれている。孫が可愛いということ、孫が可愛い、可愛いということを書いた文章を他人に読ませるといふこととは違う。

「V.I.K.I.N.G」が創刊三十周年を迎えた。「腰も痛うなつたし、こゝらでそろそろ悟らなあかん」と思つて、富士さんはキャブテンをおりた。広重聡さんが四代目キャブテンとなり、二十代の青年田寺敦彦君が編集人と

つて、若年寄りみたいなことになつてしまふという。四人の若いエネルギーがかたまるまで待つていたというあたりに富士さんの「冷静」ぶりがにじんでいる。「迎V.I.K.I.N.G三十年感想」に富士さんはこう書いている。「V.I.K.I.N.Gが三十年を迎えることについての驚きやよくぞここまでやつたという感激といったものはわたしにはない。いたずらにだらだらつづいただけではないかと気の短かい有意義好きの向きから悪声を放たれても別に卑下する気もない。気の短かい有意義好きの向き（これは日本人の一般的通弊のように思われると考える）に對する反抗としてやつて来たのではないから、けなされようと、又、ほめられようと、何ということもない。」これでこっちは弱つてしまふ。ほめることまでまえて禁じられてゐる。富士さんは「何ということもない」で、「平然」とすわっている。当方は、いいようがなく

A HAPPY NEW YEAR

幸せを運ぶ

ユーハイム・コンフェクトの

お菓子を

今年もどうぞよろしく



グリョック

Glico

〈幸福〉 ¥1,000 ¥1,500 ¥2,000

北 欧 の 銘 菓

ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市灘合区熊内町1-8(南蛮美術館東隣) TEL.221-1164
■三宮センター店・さんちか店・大丸・そごう・阪急・三越・神戸デパート・元町店

MAKE UP WITH ROYAL

頌 春



年変わればメガネも新調!

あなたにピッタリのめがねの
ご相談には ぜひ
KOBE OPTICAL をどうぞ

 **神戸眼鏡院**

元町店・元町3丁目 ☎(321)1212代表

三宮店・さんちかタウン ☎(391)1874~5

元町店は毎水曜日がお休みです

三宮店は第2、3水曜日がお休みです。

神戸の集いから

★女ひとり書の道二十年：

厳しく、楽しく、あでやかに。書の様々な世界を夢み、試行し、実現してきた書家の望月美佐さんが、11月11日午後6時から、風美社10周年・望月流創設記念の「美佐の会」を生田神社会館3〜4階で約三〇〇人近い人々を集めて開かれた。今回は十周年を記に書道界で初めての望月流を創設家元になり、高弟が名取りになるという式典と「美佐の会」発足、つまりファンクラブが誕生したわけ。静の書、動の書、くらしの書、児童教育と様々な試みにアタックした美佐の仕舞「土蜘蛛」もヤンヤヤン



圧倒的男性支持をうける「美佐の会」

★自己追求の五人展盛況

第8回を迎えた元町画廊の主催する具象人間「五人展」が、11月13日から20日



盛況ぶりをみせた元町画廊の五人展

まで開かれ、初日のオープニングパーティーは当代の人氣画家の力投ぶりを見ようと大盛況。

密度の高い河野通紀さんの静物。淡々とパリ風景と人間交流を描く西村功さん今回はパリ・韓国から帰ったばかりの中西勝さんが静かな風景画で押えた画面。

初めて女性像を出品し、また再出品の「夢候」が圧巻だった氣力の鴨居玲さん。松本宏さんは、幻想的な人間のエロスと群れを交錯させた世界。主催の佐藤廉さんは「本質を見直す時代に、お互いの人間性を確かめあい、反省していく姿を見てほしい」と語った。

★めだかのこちやる

人間どん

隠れキリシタンの島、五島に生きる貧しくも美しい人々が自然の中で大らかに交る様を、故郷の母の姿を通して、五島生れの大阪生活をする今井美沙子さんが故郷との交錯を描いた「めだかの列島」が、この程、築摩書房より出版（980円）。

その出版を祝う会が、異人館通りの「ギヤルリキータノサーカス」で11月13日に開かれた。ご主人の造型作家の今井祝雄さんの装幀今井夫妻を囲むめだか人間の暖たかな集いだった。



今井祝雄・美沙子夫妻を囲んで

★「アポロイン」開店

深江から第四工区へ国道43号線を渡っていった東側のキレイなビルに「アポロイン」が11月18日にオープンした。

喫茶&バーとレストランがあり、特にコック歴30年を誇る調理長が腕をふるいご自慢の西洋料理を充分楽しみながら味わえる。



頑張る難波宏彰氏（右端）

この付近では、このような本格的なレストランがほとんどないため深江のひとつの新名所となるだろう。

当日は店の駐車場を利用し、開店にお世話になった方々を招き愉快なオープンングパーティーが催された。

●小泉パーティご案内

小泉パーティは

結婚を希望する男女にお見合や親睦パーティ、愛好会によって健全なお交際のお手伝いをいたします。

身元の確かなことは良縁の第一条件です。身元の確かな方々の会員制の集いです

- ・入会金 10,000円
- ・年会費 10,000円

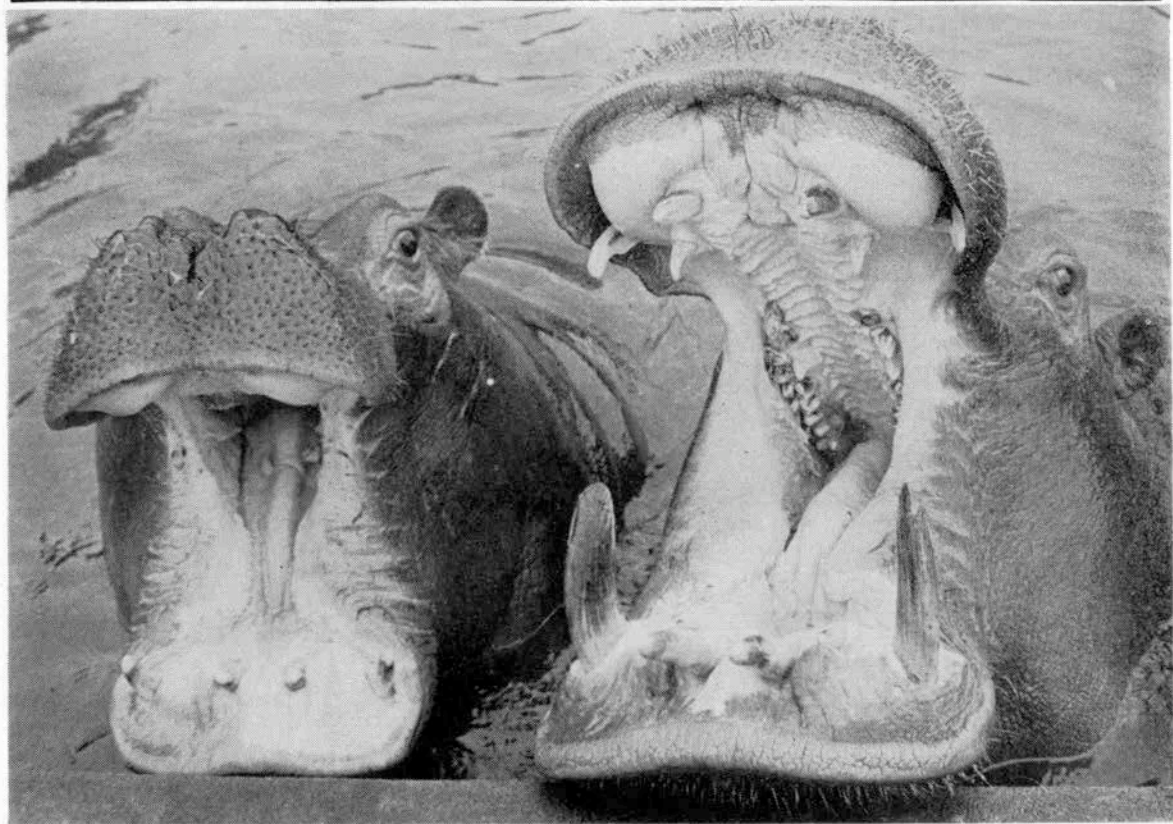
小泉パーティのご案内・入会書類ご希望の方は事務局へ
〒650 生田区北野町3丁目10-2
波島マンション105号
☎078-242-0333 小泉正巳
お問合せ、ご連絡は午前中又は夜間
をお願いします。



動物園飼育日記—137—亀井一成



“生餌”休園日



「動物園に定休日ができました」

昭和五十三年一月から毎水曜日が王子動物園と須磨水族館の休日となった。(但し、水曜日が祝日の場合は翌日が休日となる)

たまには、入園者のいないのんびりした動物園もあっていいのではないか……。ありがたいことであります！

毎年十二月二十八日の御用納めから元日までの四日間が動物園唯一の休園日だった。

正月を迎えるため動物舎のガラス洗い。ペンキ塗装。プールの水替え。各畜舎の敷わら取替え。脱糞など汚物の総搬出。排水溝の泥あげ。運動場の土砂入替え作業など、入園者のいない広々とした園内で遠慮なく、どしどし作業ができ、一年の「あか」を落とす絶好のチャンスであった。

だから、園内売店や事務系職員らでさえ、正月準備に出勤する者もあって、さほど休日の実感がなかったはずである。

「働きすぎの日本のみなさま！少しはのんびり休日を楽しまたまえ！という世間さまの、「おやすみ論」がやっぱり動物園にも入りこんできたんだね！有難いものです



！私はこんなふうに思えてならない。

「入園者ウエルカム派動物」

だけど、ほんまに、お客さんを嫌って穴小屋から姿も見せず、おびえている拒否派動物たちが、どれほどいるのか。開園以来26年この方、かわいい動物(せがれ)たちと生活を共にしてきた私、即座に指折り数えあげられないのである。

それじゃあ、いっぺん見てやれと、チェックしてみたから、こんなことになった。

午前九時開園。その頃がちょうど朝のエサ時だから、ぼつぼつ朝のエサもなく入り入園者が増えだす十一時頃からは、三時頃までの彼等の賞餌行動をのぞいてみたら、なんと、夜行性であるはずのものまでが、毎日の触れあいから入園者の姿に駆け寄ってはアーン。何かおもしろいもの下さいな、という物質い行動を見せている。

何とおっしゃるうが、大声だして拍手して素通りさせないのが、チンパンジー、オランウータン、マントヒヒ

ニホンザル、ベニガ

オザル、クロザル、

ブタオザル、オマキ

ザル、クモザル、カ

ニクイザル、パタス

ザル、マンドリル、チ

ヤクマヒヒ、と列記

すれば限りがない。

とにかく猿類の全て

と、いっていいほど、

総出でエサを貰って

いる。

次にニホンゴマ、

ヒグマ、ヒマラヤグ

マ、ナマケグマと雑

食の強いクマ類の全

てが、これまた立ち



あがりアーンとやっている。然し肉食の強いシロクマだけは少々知らん顔のところがあった。

さて、次には草食性のものだが、これまたきれいな眼を輝かしては柵越しにみんな首をのびしバスケットなどを菓子類を貰っている。大食漢のゾウを筆頭にカバ、サイシマウマ、キリン、シカ、バーバリシープ、ラマ、ロバとそのほとんどであった。だが草食というより樹葉を好む小心のカンガルだけは、さほどヒトさまに近寄らないだろうと思えば、木の枝やクローバーなどを手にしたレギュラーのお客さまにはいっせいに駆け寄っていた。

えーと、それじゃあー、幾らなんでも鳥たちは、近寄つてこないだろうと思えば、これまた、意外な結果となつた。ハクチョウ、カモ、オシドリ、ガン類は、もちろんのこと、魚肉食のほずである、ウミネコ、セグロカモメ、ユリカモメまでがバスケットに寄り集り奪いあひあい。ニワトリ、チャボはもちろんのことニホンキジ、キンケイ、ギンケイ、ハツカン、クジヤク、それにタンチョウ、オオヅル、カンムリヅル、アネハヅルとツル類全てが子供の投げたバスケットをつつき食べている。

次には、わざわざ、お客さまにエサやりをして頂こうということから（いやエサ代が助かるから）アジを売っているアシカ、とベンギンは、エサ皿を手にしたお客のあとを、哀れなほど追っていた。

実際には、ウサギやモルモットと小動物など列記すれば、動物園のそのほとんどをウエルカム派に入れてもいくらいとなる。だがそれでは片手落ちとなるではないか。との見解から、その逆、つまり拒否派もあげなくてはなるまい。いや、ほんとうに入園者のいないその日にこそ、食欲を満たし、のほほんと暮すものもいました、いしました。

〔入園者拒否派動物〕

それは、肉食のトラやライオン、ヒョウでもなく、魚肉しか食べないペリカン、アオサギ、ワシ、タカ類でもない。投げる食物がバスケットだったから知らん顔だっ

たわけで、あれが肉だったらいや小動物を手にしたらまたお客のあとを追うかも知れない。それじゃあ、一体どの「子」たちが最も休園日をエンジョイしてくれるのだろうか。はつきり申上げて、その答えは、「生餌」がなくてはすまされないニシキヘビやシロフクロウなどであります！

日中、入園者の前で生餌を与えることには問題もあろうかと、夜間与えることにしている。例えば夏の食欲期のニシキヘビには一夜に三〜四羽のニワトリやウサギを与えておくことにしており、翌朝食べ残しがあれば開園前に取り出すという段取りになっている。

ところで我国でもきわめて珍らしい全国で四羽めというシロフクロウがまた、その餌つけにモルモットやマウスの生餌をどうしても与えなくてはならない。

しかも夜行性の彼等にとつてはヒトのいない静かな一日は少なからず落着くはずである。

いや、たとえ夜行性といえども相手を襲うとき暗闇の方が効率がいいから与えるのなら、日中であろうと、生餌にはむさぼりつく事実がある。

動物たちのストレスが解消する。

獣舎の清掃や維持、管理が集中的に行われるので、休園日のプラスは大きいというそのほかに、こうした、陰の生餌飼育が日中、ストリートに行なわれることもまた、

休園日のメリットのひとつではなからうかいやほんとに、休園日といえども悴（動物）たちはよく食べてはウンコをしてくれるのである。

／＼王子動物園芸員写真も



今年から水曜日は休園ですよ

幼児歯科 小児歯科

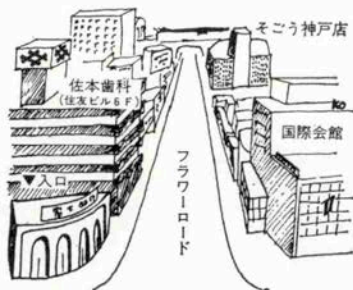
SAMOTO PEDIATRIC DENTISTRY

佐本小児歯科

母親教室

(初診日) 火曜日 午前9時30分
金曜日 午後1時30分
(木曜日は休診)

そごう前センター街東角・さんちか入口
住友銀行三宮ビル6階
〒650 生田区加納町5丁目39
TEL (078)331-6302~3



おめでとう赤ちゃん



鈴木淳子ちゃん / 芦屋市浜芦屋町

完全看護★冷暖房完備★病院前駐車可能

芦屋 柿沼産婦人科



芦屋市大柁町1番18号
国道芦屋川電停東50米(明治生命南)
☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

神戸にふさわしいイメージの町づくりを……

今回は、行政サイドから神戸都市計画局計画部計画課主幹・浅井活太氏、市民サイドからは戦前より現在までのトアロードをご存知であり、トアロードに多大な関心をおもちの佐藤順子さん、そして地元トアロード中央商店街振興組理事長・加藤末一・コロンパン社長にお集まりいただき座談をお願いし、以下はそれをまとめたものである。

★新しい神戸のイメージとなる町づくり

トアロードには昔のなつかしい郷愁が残っている。こんなことを耳にした。一体、昔のトアロードはどんなふうであったのだろうか――。

まず今と異なっていることで意外だったのは、北野町とトアロードと大丸前と新開地あるいは三宮方面へと、要するに上から下へと人々が歩いたことである（現在は下から上へ、と歩く人が多いのであるが）。当時、白い砂地の坂道の上から山を背に海を眺めつつ、一流の舶来雑貨、舶来服飾、洋風家具など、ウインドーごとに陳列されたハイクラスの商品を楽しみながら、あるいはショッピングしながらトアロードを下りてくる雰囲気は何ともいえないものであったようだ。ことに夏は、太陽光線が海に反射して道が白っぽく、町全体が明るく感じられ、サルスペリの街路樹が美しかった。

まだまだ他にもあるだろう。だが古き良きトアロードを語る人は少数となってしまっている。トアロードは昔からの「神戸らしさ」が残っている町だが、性格その

ものは商店街である。それゆえに、押し寄せる時代の波に従って新しいものが要求される。残っている昔のイメージのうち、良いものだけを将来に続けることにして、これからは神戸にふさわしい、新しい神戸のイメージになるような町づくりの方向に進まねばならぬとききているようだ。

★量から質に転じる政策

トアロードが繁栄していたことをたどると、神戸は海に港があり、山手に居住地が広がって南北に往来が行なわれていた。それが交通の発達にともなって、逆に町が東西に動きだして現状のように南北の道を中断してしまった。トアロードを例にとっても事実には明白にあらわれ



解決すべき問題の一つは南北の流れのスムーズ化だ

ている。

神戸市民が個性のある町としてあげる場所で、住宅地として北野町、そして人々の交流のある商店街としてトアロードが筆頭になっている。すなわち南北の通りだということになる。東西にばかり発展してしまった神戸に南北の通りを復活、あるいは保存していかなねばならないことへの市民の要求だと受け取れる。

このことは、急速度の高度成長を遂げ「質より量」で頑張ってきた日本人の心に萌した何かと関連づけられるような気がする。それは、自分たちの身近なところではじめて「質の問題」に気付いたということじゃないだろうか。最近ブームを呼んでいる北野町あたりへ、異国情緒を求めて人が行くのも、ひとつの裏づけになるかもしれない。

神戸市当局においては、今までは都市の骨格づくりという方針で事業を行ってきた。道路の整備、市街地改造を中心に都心部の顔となる東は六甲道から、西は新長



空の青さと山の緑——明るい町並みがつつく

田へと手がけてきたわけである。が、有識者のヨーロッパ訪問などを契機に「都市に個性をださなければならぬ」という方向へ、考えを固めてきている。市民が個性ある町として指摘する北野町、トアロードに対して、何らかの形で整備を行なうべくよう政策を打ち出そうという段階まできている。

全国の人が思っている神戸らしきとは、ヨーロッパ風のハイカラさをもつ町というイメージが強い。日本にもこんな町があったのか、と他都市から訪れた人に思わせる、いい意味でのヨーロッパ風のきれいな町並み整備をお願いしたい。

かといって、町全体を画一化してしまっただけはこまる。栄町、元町、トアロード、それぞれまったく違った個性を打ち出す政策で望みたい。神戸市が整備を行なっているセンター街は、アーケードと地下街のある商店街である。アーケードを抜けてトアロードに出たとき、太陽が見えて、人々の心に何かしらほっとしたものを与える。トアロードにはアーケードは必要ないのだ。お日さまがあたる商店街。これはひとつの神戸らしさであり、トアロードのもつ個性なのだから。

それから、トアロードを夜もウインドーショッピングのできる商店街にして欲しい、という意見もだ。午後八時を過ぎると、三宮―元町一帯の商店街がシャッターをおろし、まさに「死の町」の感さえする。営業時間などの関係上、夜間まで店を開けておくことは不可能であるが、ウインドーには照明をつけて通る人々が見ることのできるような商店街であって欲しいものだ。ウインドーごとに照明がともり、昼間のごとく商品が並べられているのを眺めながら坂道を行き来できれば人々の心もなごむことであらうし、町の治安がゆきとどいているということにもつながって、神戸に「豊かで安心して住める町」のイメージを一つ追加することにもなるだろう。

町づくりには完成はない。しかし、その時代に生きる人が、変えていくことはできるのである。

□神戸を福祉の町に△49▽

非行少年とともじ

北海道家庭学校校長

谷昌恒氏の講演から

橋本 明

△社団法人「家庭養護促進協会」事務局長▽



十一月十三日に当協会主催の「家庭養護公開セミナー——これからの児童福祉を考える——」が開かれ、北海道家庭学校校長の谷昌恒氏をお招きし、「非行問題の根底にあるもの」と題して基調講演をしていただきました。なので、今月はその内容をまとめてみました。

☆厳しい自然が人間を育てる

私の勤めている北海道家庭学校は日本で唯一の民間の教護院です。この学校は大正三年に留岡幸助が国から一千町歩の土地を払い下げられてつくったものです。彼は「自然」が人間を感化すると考えましたが、彼がどうして北海道に土地を求めたかといえますと、それは北海道の自然が大変厳しくて早熟ではないからです。教育という仕事は早熟ではできません。北海道の大自然はまさにじつくりと腰を落ち着け、時間をかけてとりこんでいかねばならず、こういう風土が人間を育てる教育に適しているとは彼は考えたのです。

私は自分の所にいる非行を犯した少年たちを「非行少年」とはいわず「孤独な少年」とよんでいる。彼らは誰も自分をかまってくれない、自分の気持ちをわかってもらえない、と感じている。私は先日、NHKの「福祉を

見つめて」という番組で家庭学校がとりあげられた時、アナウンサーのインタビュに答えて、この少年たちのことを「不幸な子ども、不幸に負けた子ども」と表現したら、そのテレビをみていたある少年は「確かにその通りだ」と日記に印していました。

☆「運命愛」を教える

私はここで子どもたちに何を教えなければならぬかをいつも考えています。子どもたちがどうして自分はいなくなったのか、こんな運命になったのかをよく考え、それを自分の背中にしよって歩き、それを愛していくこと、つまり運命愛とでもいうべきことを教えるようにしています。私たちは一人一人バラバラに生きているように見えますが、決してそうではなく、お互いに密接に関わり合って生きているのです。

たとえば私の学校ではたき木に使う薪が軒下に高く積んでありますが、その一本を引き抜くと他の薪もバラバラと崩れてしまいます。ですから一人の人間が「俺死んじゃうよ」というと、それはその人だけの問題に終ることなく、他人に大きな影響を与えます。一人の人間の死

は他の人に大きな傷を残すものです。

私の学校では子どもたちに自分のお父さんやお母さんの話をしないようにはさせません。家族の話は少年たちの心を痛めますが、タブーや禁止をするといつまでたってもそれを乗り越えられないからです。

自分の運命を避けないで、その運命に直面していくということはとても大切なことで、自分の運命をじっと見つめて生きていくことによって次の新たな第一歩が踏み出せるのです。

☆家庭に誇りをもつこと

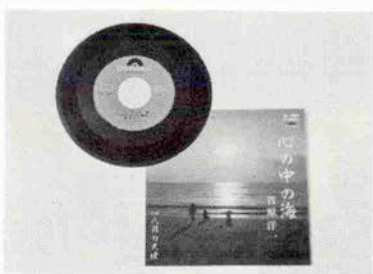
最近、教育の頹廢とか医療の荒廢ということがよく言われますが、日本ほど教育や医療がよく行きわたっている国は珍しく、教育にも医療にも人はいっぱいながら人間不在だといわれるのは本当はおかしなことです。なぜ人間が不在かという点、それは一人一人の人間をどれほどじっくりとみつめているかということに関わってきます。教育にしても一人一人の子どもをどこまでも追いかけていくという視点が今の日本では欠けているのではないのでしょうか。天下国家を論じ合うことも大事なことです。目の前にいる一人一人の子どもをどうしていくのかをよく考え、つきつめて話合っていくことが大切ではないでしょうか。

最近では家庭の主婦の万引きや、ごく普通の子どもの万引きが大変多いように思いますが、これなどは一軒一軒の家庭が満たされていないからだと思えますね。子どもの問題は親や家庭の問題である場合が多いのですが、心の貧しい雰囲気は子どもにとって決していいものではありません。私たちの子どもの頃は「よそはよそ、うちがうち」というふうに分家の家庭や自分たちの生活に誇りをもっていましたが、今はそれが失なわれてしまっている。

私の学校を見学に来られたあるお母さんが、「なぜ子どもたちに個室を与えないんですか？」と質問されました。

だが、私は「個室を与えさえすれば個性が育つものではないんです」と答えたんです。個室があるが故に家庭の中で親子の対話や接触が少なくなってしまうことだってあります。子どもは親との激しい格闘の中で育っていくのですが、最近の親子にはこの格闘がなくなっているんです。子どものためによい環境を与えることは必要なことでしようが、悪い環境の中でもそれに負けないで育っていくようにすることが、本当の人間の教育ではないのでしょうか。そのためには一軒一軒の家庭が、それぞれどんな環境であれ、もっと誇りをもって生きてほしいのです。

■菅原洋一さんの歌でレコード発売



澄んだ美しいメロディーの「心の海の海」

神戸市須磨区明神町に住む、重度の脳性マヒの青年、平沢史郎君(19)が作詞・作曲した歌を菅原洋一さんが文化ホールでのチャリティコンサートで歌ったのがキッカケになりこのほどポリドールでレコードとして発売されました。障害と闘い

ながら生きていく青年の気持ちに打たれた菅原洋一さんも、吹き込みをする時は全く手を入れずに平沢君の原曲通りに唄った、と話しています。重度の心身障害児父母の会須磨支部では障害者に希望を与え、また障害者問題についての理解を深めてもらう運動の一つとしてこのレコードを五万枚つくり、一枚五〇〇円で販売していますのでご協力をお願いいたします。

このレコードについての連絡は須磨区福祉事務所、または大山さん(T.E.L.、七三二―八二三三)へどうぞ。

神戸のブティックとデザイナー(1)

ファッションは大切に育てたいワ

藤井まつ子(装苑)



本当のおしゃれ、本物のファッションには相当の年季があると、装苑の藤井まつ子先生に会うと感じてしまう。いつも若々しくさりげないおしゃれの藤井先生に、インタヴュー。

——ヨーロッパに行ってらしたのですね。

「ええ。ショーを見たり夏物の仕入れをしたり。でも仕入れといっても、そのまま日本人には合わないものもあるし日本じゃ着れないのよ。あっちで見るとしびい色でいいなと思って持って帰ってくるとしぶ過ぎるの。で、振手過ぎるかなと思うのが、まあいいのよ。空気のせいかな、風景のせいかな。それと、サイズが違いますよね。中年の方には袖ぐりが小さくって袖が長すぎるとかね」

——プレタには参考としてそれが反映するんですか?

「その年の傾向などを取り入れます。現在むこうで流行

っているものを日本人向きに取り入れるとかね。大丸前の店では、オリジナルのプレタと、デイオール、ミス・バルマン、ニナ・リッチ。四対六位の割合ね。センターブラザは、若い人向きのもの。年取るとね、若い人向きの仕入れが楽しくってね。今じゃ着れないなって思うようなものを仕入れてくるの。楽しく仕事したいでしょ。好きじゃないとできないわね、ファッションの仕事は」

——装苑オリジナルモードの特徴はどこなところ?

「ミセスが対象ね。いい材料でいい仕立てで。そしてサイズがミセス向き。研究しましたよサイズは。四、五十代のミセスの体型。だからとても着やすいんです」

——神戸ではどうですか、ミセスのファッションは。

「今までワンピースとかスーツを着てた人たちが単品嗜好になってきた、単品のいいものね。着こなしが上手くなってきたってことでしょうね。でも年中単品物はかり着てるんじやダメで、場所に合わせたものを着ていかなくつちや、これからはね。でも神戸はそういう機会も少ないのね。舞台でも文化ホールや国際会館じやドレスで行く気にもなりませんけど……。でもみんなおしゃれしたいのよね。したいんだけど機会がないからってドレスを買わないし、たまに着てもイブニングなんてまだ服に吞まれてる」

——神戸はファッション都市を目指してるわけですか?

「ウーン、ファッションのお店が多いから?多過ぎるわ

ね、それでいて、神戸らしきのある地元から出た店が少ないのよ。地元の店を大切にしないとね。神戸のファッションって奇をてらわず上品で——要するに山の手のお嬢さん、奥様風」

——装苑さんのモードに一致するわけですね。

「そうね。でもそれだけじゃダメで三割くらいは新しいものを取り入れないといけない。七割は装苑カラーを守ってね。七対三で少しずつ流行を取り入れるのよ」

——いいものは変わらないという姿勢ですね。



「これでもいいのかしらって思うけど、ガラッと変えるとかダメだと思うんです。たとえばシヤネルでも、グッチでもエルメスでも、毎年同じものを売ってるわね。日本なんてパーと流行ってみんなが欲しがって、商品をくちやくちやにして、で流行遅れだからいらなくなって使わなくなってしまいうのね、やっぱり一つのを大事に持っていてそして育てないといけないのよね」

——手造りの味のようなものですね。

「そう、だからある程度まで伸びたらあとは横ばい。う



右/鮮やかなストライプのベストスーツ 右下/キャメルカラーのコート
上/紺に小花のボーダー地のワンピース (作品はすべて装苑オリジナル)

ちでは今年からオーダーは段々とお断わりすつるもりです。そして、ブレタできつちりお直ししてね、つまりオーダーとプレタの中間のようなこととしていきたいの。要するに過剰生産になっちゃダメですよ、手でする仕事ですからね。頑固にスタイルを守っている方がいいのね」

ことしもジーンズ でっつ走ろう

武田則明 VS コレット

★日本の木造建築ステキです

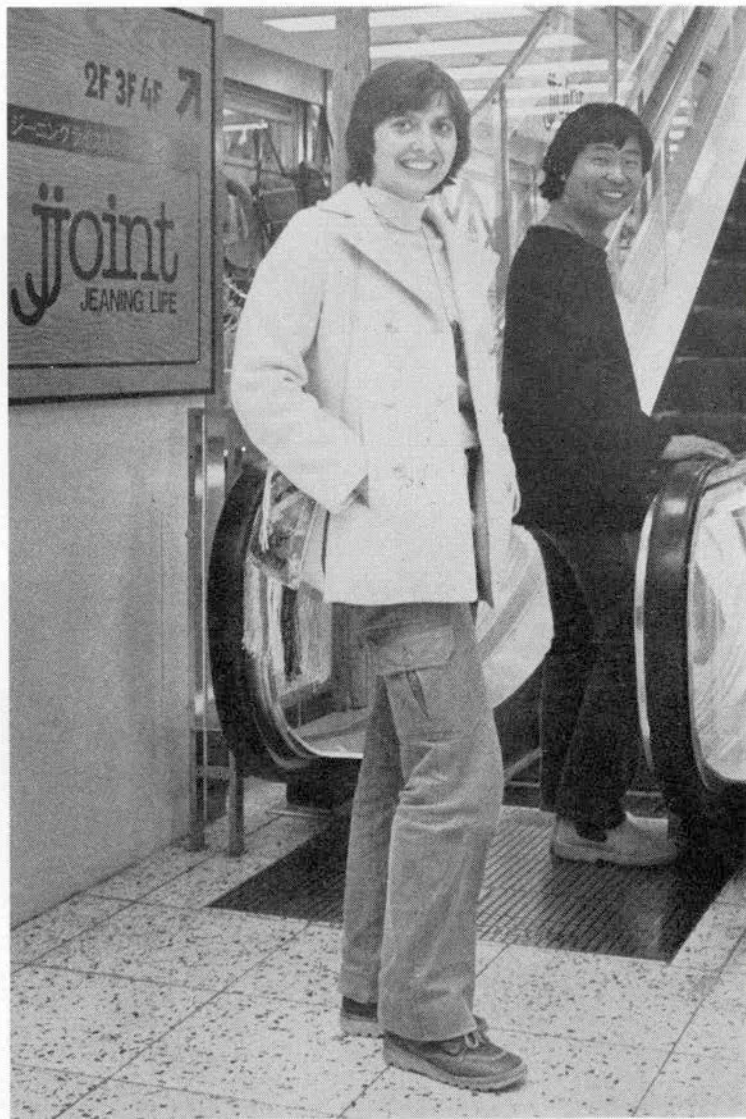
武田 四年前建築デザインを勉強されたそうですね。特に日本の建物に興味をもたれたとか。

コレット 日本の建築が一番好きです。なかでも木造住宅と古い田舎の家が。木や石を使っていて自然がいっぱいですね。建築博物館に行つて、合掌造りや入母屋の建物を見てきました。今度は実際に住んでいる家を見に行くつもりで

す。

武田 日本の建築とフランスの建築の違いところはどんなことだと思えますか。

コレット そうですね、日本の場合、障子や襖を部屋のしきりに使いますが、それを開けると家族みんながいっしょにいる、という感じがします。フランスでは、両親の部屋、子供の部屋、とはっきり区別してドアで閉じてしまいますね。これ大きな違いだと思います



た。

武田 障子や襖は「オープン」の状態が基本的な形であり、それにくらべてドアは「クローズ」な状態が基本になってるんですね。同



COLETTE SCHERRER
日本の古い建築に興味をもち、只今神戸の古い建築を調査中。只今神戸の古い建築を調査中。只今神戸の古い建築を調査中。

じ建具であるけれども、基本的な性格が違うわけなんです。これに興味をもたれたわけですね。

コレット ええ。それと、日本では暑さのために家を建てます。例えば涼しい風を入れるためたくさ窓を付けた。だけどフランスでは寒さのために家を建てるのです。壁を厚くして寒さが入らないように。南の方でも暑さが入らないようにやはり壁を厚くして外か



武田 明則さん、今、主としてこの建築の調査をしています。主としてこの建築の調査をしています。

らの風を防ぎます。これも大変おもしろい。

武田 なるほど。つまり日本は高温多湿だから、風通しの良い建て方をします。フランスでは、夏は確

かに暑いけど湿度が低く、冬は多湿でわりに過ごしやすいいいところだなあ。ところで、神戸の建物はどうですか。

コレット 昔の建物しか興味がなから、新しい建物はフランスの方が好きです。

武田 そういえば、神戸の古い建物といえば異人館で、それは外国人が建築したものだからねえ。新しい建物にも神戸のオリジナリティーをだすようにしないとイケないですね。

コレット だけど神戸の町は好きです。他の所だったら「外人」というふうに見られるけど、神戸では普通に歩いて買い物もできるから安心です。

★ジーンズは僕の主張

武田 コレットさんは生粋のパリジェンヌだそうですが、パリのジーンズとアメリカのジーンズの違

いはどんなところですか。

コレット アメリカのジーンズは普通の型でラフな感じがします。パリのジーンズは、それにデコレーションをして変化させ、みんなと同じでないちよっと違ったものとして着ますね。それに一年ごとに流行が変わります。

武田 僕はジーンズを仕事着としてずつと愛用してるんですよ。コレット アメリカンタイプのジーンズですね。

武田 そうです。図面を描くだけでなく屋根裏に潜らなければならぬときもあるし……。それともう一つ理由があるんですよ。コレット それは何ですか。

武田 初めて人を見たとき、服装で判断することがよくあるでしょう。その点ジーンズなら判断の価値基準がないように思うんです。いわば、僕自身の自己主張だということになるんでしょうね。

明けまして おめでとうございます



ジョイントメンバー募集
今すぐ三宮ジョイントへ

お買物上手のパートナーJ・C・Pカードで楽しいショッピングを。所定の手続きをさせていただくとその場で入会OK。色々な特典やジョイントメンバーがもらえたり…と会員による自主運営クラブがジョイントクラブです。そして会員には割引ができるJ・C・Pカードをさしあげます。入会はかんたん、どうぞ「ジョイントクラブに入会したい…」とお声をかけてください。

ジョーニングライフ・スティー・ジョイント

jjoint

JEANING LIFE

三宮・ジョイント

〒650 神戸市東灘区三宮三丁目11番30号

AM 07:30 / PM 7:20 / 2004年6月

AM 10:PM 7 (水曜日)

あけましておめでとうございます。

昭和五十三年元旦



あなたのファッションをFRESH UP!

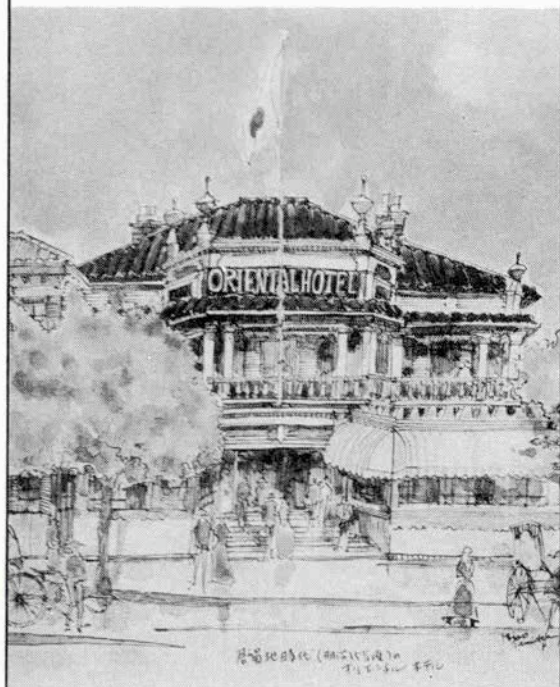
ニシヤ
神戸市灘区紀田町1 ☎078-8512409

山手店 三宮店 熊内店 宝塚店

あけましておめでとうございます

本年もご愛顧の程お願い申し上げます

昭和53年元旦



オリエンタルホテル

神戸市生田区京町25 ☎(078)331-8111

六甲オリエンタルホテル

神戸市灘区六甲山町 ☎(078)891-0333

★神戸ファッション市民大学OBによるグループ
 <神戸のファッション都市化をめざす>

K.F.S. news 28

事務局/葦合区二宮町4丁目6ノ2
 パールマンション6F
 デザインルームナカハラ内 TEL 222-4040

11月例会 | 今年の春夏のパリモードは？

今回は皆さん憧れの大内順子さんを囲んで記念写真。暖秋のあとのとても寒い日だったのですが、出席率は上々でした。大内さんはツイードのストライプのスカートに黒のセーター。渡辺暎子さん撮す。



「ケンゾーが素晴らしかった」とパリの今シーズンのプレタのショーを伝える人は口をそろえて言います。「サンローランが大人しくなっただけで、ケンゾーが良かったワ」と11月K.F.S.例会の講師の大内順子さん。スライドをたくさんかえて2ヶ月ぶりに来神。
 海賊風ターバン、片眼帯、肩からかけたチェーンのケンゾー、黒革のモンタナ、金びょうを扱ったミュゲレルとペンクルックはかなりの影響を与えているようです。
 とここで、御存知？、最近ショーの時マヌカン達は下着を全く着けてない時があつて大きなフレアーのスカートの時など、カメラマンも大喜びだとかつて！

明けましておめでとーございます。

一九七八年元旦

今年もファッションナブルな幸多い一年になりますように。そして本欄も、どうぞ宜しく。

会員ニュース

●阿曾 吉生さん(阿理容アソシ)

大阪の梅田店へ転動になってから1年4カ月、三宮へ出かける機会も少なくなり会員の皆様とも御無沙汰がちで申し訳なく思っています。先日久方ぶりにK.F.S.主催の京都小旅行に出席して、懐しい顔ぶれに楽しい一日を過ごしました。中原会長夫妻が急用で欠席だったのは残念でした。



今、私共の店ではヘアのユニセック、クサフアッシュン&クリニクをテーマに取り組んでおりますが、単に外的なファッションにとらわれることなく健康な髪本来の美しさを追求しようという日夜講習や技術研修におわれています。今年こそはお嫁さんをとただ今「全国的に募集中」であります。できることなら神戸生まれの可愛い女性を、と思っている今日この頃です。

●大内 信行さん(丸マルダイ)

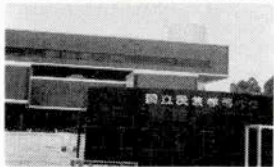
K.F.S.の皆さん、新年おめでとうでございます。私にとっては本年早々あわただしい1年となりそうです。都市改造による工期2カ年余を経た念願のセンター本店が3月初めオープンの運びとなったからです。現在新店舗に関する詰め段階で、頭の痛い反面期待を込めた嬉しい毎日です。それらの企画、計画に携わって痛感することは、ファッション分野に限らず今後には更にプロフェッショナルとして、また専門店としての意義なり位置づけが問われるのではではないか、ということです。



昨年は、積極的に活動しているK.F.S.の皆さんとの交流に私なりに大きなものを得たように感じます。今年は「厳しさの中の充実感」を得ることのできる年にしたいと願っています。

●1月例会「国立民族学博物館」
 時/1月22日(日) 9:00a.m
 市役所前集合 5:00p.m 解散
 予定・費用/2000円 一般参加可
 (バス代 入場料 昼食)

★民族ごとに言葉が違いうように、民族ごとにファッションも違う。「知的冒険」を搜して「みんなぼく」に行きましょう。



ママゴンにささげるバラード¹³
かわいそうなママ

岡田 淳

